



2016-2017 年度 RI テーマ

RI 第 2 6 1 0 地区

東となみロータリークラブ会報

2016-2017 年度 No.41

事務局(新) 〒939-1652 富山県南砺市福光新町 56

TEL 0763-55-6125

FAX 0763-55-6147

h.tonamirc@gmail.com

2016—2017 年度 会長 山本武夫、幹事 得永忠雄



(ジョン F. ジャーム会長)

例会記録

第 1859 回例会

平成 29 年 5 月 10 日(水) よいとこ井波

1. 開会点鐘：会長
2. 国歌「君が代」斉唱
3. ソング：奉仕の理想
4. 月結婚記念日：長田正勝会員(28 日)



5. 月誕生日：山本武夫会員(10 日)…バースデーソング、河合耕一会員(30 日：欠席)



6. 会長の時間(理事会・幹事報告も併せて)：今日は大変うれしい日となりました。誕生日当日にお祝いをもらうのは初めてだと思います。皆さんご存知ですか？これジパング倶楽部の会員手帳です。65歳以上になればJRのジパング倶楽部会員になれば、最初の3回は2割引で4回目以降は3割引で利用できます。このサービスは夫婦

一緒に受けることができます。連休中は孫たちとタケノコ掘りをしたりしましたが、ようやく疲れがとれてきました。5 RCゴルフ大会のトレーニングになったのではないかと思います。どこまで回れるかは心配です。4月29日は南砺の山々の植樹祭に参加の皆さんありがとうございました。今年度ももう少しになってまいりました。幹事が早退しましたので幹事報告を行います。

①理事会報告、ア.5月の例会予定の確認。イ.次年度 R 財団地区補助事業については正式に地区より認可したという報告があり、あとは年度明けの R 財団からの正式認可を待つのみ。ウ.青少年奉仕委員会活動について(委員会報告で報告する)エ. 5RC 親睦ゴルフ大会(主管：小矢部 RC) 5月12日(金) 9:30 スタート、ゴルフ倶楽部ゴールドウィンにて開催。オ.新湊中央 RC 創立 25 周年式典、5月21日(日) 第一イン新湊(会長・幹事出席)カ.「庄川クリーン大作戦」について、6月4日(日) 庄川庁舎前集合 7:00 スタート。キ.次年度に向けて…河合エレクト欠席のため次週の例会に報告と質疑などを行う。ク.その他、6月の例会予定について。②近隣クラブの例会変更は事務局に確認を。



7. 委員会報告：①出席委員会（横山幹委員長）：21 名中 14 名出席（66.67%）②青少年奉仕委員会（長谷川委員長）：5 月 29 日（月）14:30～15:20 に当クラブ員と中学校生徒さんが小グループとなり、草むしりと花苗の植え付けを行います。グループ分けの関係もありますので、皆さんの出欠の確認を行いますのでよろしくお願いします。

8. ニコニコBOX(SAA ; 5 名)

山本武夫会長：本日 65 歳になりました。誕生日祝有難うございます。あと 2 か月よろしくお願いします。

河合会員：誕生月の理事会と例会に出られませんで、すみません。

中島会員：久しぶりの例会やっぱりいいですね。来週、東京出張の予定ですが、2 年間で 10 回目の北陸新幹線乗車となります。

長田会員：5 月 28 日の結婚記念日の品ありがとうございます。

齊藤美華子会員：田植えの季節になり山も笑っておりますね。エネルギーを充電して頑張りましょう。



卓話「私がいま取り組んでいること」

長谷川吉美会員

長谷川会員：いま全国的に犬猫の殺処分ゼロ運動が盛んに行われています。数年前からそういった話が出ており努力してきました。今、犬に関してはあまり問題はありませんが、猫ブームということが昨今あり、猫に関する意識が低いのが現状です。富山県全体で平成 28 年度に殺処分された犬猫は355頭でしたが、その内、猫が323頭、犬が32頭でありました。こんなに大きな差があります。猫は年に3回出産し、一回につき平均6頭生まれると言われています。また、何故か猫は多頭飼いになっており、飼い主が居なく

なると悪臭や悪戯などの苦情が厚生センターにくるのが現状です。2年程前から厚生センターの有志の方から何か対応しなければならぬのではないかと話がかきております。団体としてではなく個人としてボランティアとして行っておられる方はおられますが、個人の力には限りがあります。捕獲用具や保護する場所の確保など問題が多くあります。そんな中、私たちの職業の者に半強制的に招集がかかり、その中で協力できるものは8名でありました。(仮称)「ニャンとボランティア」ということで発足しました。その後、いろんな方から電話があり、持ち込まれた猫を厚生センターからの一時預かりというのが現実であります。行政としては制限があり出来ることは殆どないというのです。持ち込んだ人には 2,000 円支払われますが、一時預かりしたボランティアは里親が見つかるまで保護しなければならない。その間の餌、ワクチンそしてトイレ等に要する経費を負担しなければなりません。とても続かないので大きな団体の方に相談しました。そこから餌を融通してもらったり借りられるものがあれば借りるということで、9名の有志が頑張っています。犬はこの一頭をどうにかしてほしい、ですが、猫の場合はぐちゃぐちゃです。実際あった話ですが、近所からの苦情で飼い主が借りているアパートを訪ねたとき、本人が居ないので大家さんにカギを開けてもらおうと、猫を放棄したまま、ネグレクト状態でありました。持ち帰りはできませんので、捕獲し駕籠に入れて帰りました。飼い主の行動が知りたくて張り込みをしたら夜中に女性が餌をやって、車の中で寝泊まり生活でした。本人の状態が普通ではなかったので病院に連れて行き、猫を保護するといったような地道な活動を続けています。多頭飼いの人は殆どこのような状態です。私たちは職業としてペットを売ることですが、飼い主がどのようなことを望んでおられるのか、お互いに幸せになれる形で世の中に出していければいいのかなと思っています。一頭の里親さんが見つかるとうきやが一つ出ます。そうすると空いたところに一頭を保護できる。つまり二頭が幸せになれるのでないでしょうか。お金を出して買うのもいいですが里親も大事でないかと思っています。ヨーロッパでは里親が基本となっていますが、日本もそのようになればいいのではないかと思っています。

(会報担当) 中島、長谷川(写真)、長田、山本武夫